

## 第22回 九州地区聴覚障害教育研究大会（鹿児島大会）開催要項

1 大会名称 平成29年度 第22回九州地区聴覚障害教育研究大会（鹿児島大会）

2 大会主題 「聴覚障害教育の新たな展開を目指して」  
～社会情勢の変化や多様化する子どもの実態を踏まえた指導実践の工夫～

《設定理由》

第19回大分大会、第20回福岡大会は、全日聾研佐賀大会のプレ大会として「子どもたちの生きる力を育むための個に応じた指導を目指して」という同一の大会主題で開催され一定の成果を得た。これまでの研究の成果を踏まえながら、聴覚障害教育について社会情勢の変化に合わせ、さらに専門性を高めていくことや多様化する子どもの実態を踏まえた指導実践の工夫が必要と考えられる。

平成19年度から障害の重度化や重複化、多様化の状況に障害種を越えて対応するとして特別支援学校制度がスタートし11年目となった。近年では、インクルーシブ教育システム構築へと国の施策が動き出し、障害のある子どもの教育の一層の充実のための合理的配慮やその基礎となる環境整備の考え方も次第に浸透しつつある。また、このような動きとも関連しながら「手話言語法」制定を求める機運も広がりつつあり、聴覚障害児・者を取り巻く社会情勢の変化も著しい。さらに、補聴器性能の向上や人工内耳装用の普及による子どもたちの聞こえの実態の多様化とともに、他方では重複障害学級の在籍割合の増加も目立ってきている。個人差はあるものの聴覚を活用し、口話中心のコミュニケーションの子どもがいる一方で、ほとんど手話のみでのコミュニケーションの子ども、聴覚障害と知的障害を併せ有する子どもや発達障害を併せ有する子どもなど、多様な実態の子どもたちが在籍する状況が各聾学校において見られるようになってきた。これからの聴覚障害教育においては、多様化した幼児児童生徒一人一人の実態を踏まえ、適切な指導と必要な支援を行うことが求められる。

そこで本大会においては、第21回沖縄大会に引き続いて聴覚障害教育の専門性の継承、発展を目指して指導実践を工夫していきたい。さらに近年の社会情勢の変化や障害の重複化、多様化に対応した指導・支援のあり方及び聴覚障害児への合理的配慮など、聴覚障害教育の新たな展開を目指した実践の取り組みについて共に考え、学び、深めていくことにより、専門性の一層の向上を図りたいと考え、本主題を設定した。

3 会 期 平成29年10月26日（木）～10月27日（金） 2日間

4 会 場 鹿児島県立鹿児島聾学校 〒890-8686 鹿児島市下伊敷一丁目52-27  
TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211  
鹿児島東急REI ホテル（鹿児島市）

5 主 催 九州地区聴覚障害教育研究会

6 主管校 鹿児島県立鹿児島聾学校

7 後 援 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 九州地区聾学校長会  
(予定) 鹿児島県特別支援学校長会 鹿児島県特別支援教育研究会  
鹿児島県難聴・言語障害教育研究会 公益財団法人日本教育公務員弘済会鹿児島支部

8 参加対象者 教育関係者及び療育・施設関係者 学生（大学生、専門学校生等）

9 大会参加費 1,000円

10 大会日程

前日：10月25日（水） 会場：鹿児島県立鹿児島聾学校

14:30 15:00

16:30

	受付	助言者・研究協議会責任者打合せ会
--	----	------------------

※助言者，責任者は打合せ終了後，解散

1日目：10月26日（木） 会場：鹿児島聾学校，鹿児島東急REI ホテル（教育懇談会）

8:50 9:10 10:10 11:00 11:20 12:00 13:10 14:40 15:00 16:30 16:45 17:30 18:30

受付	公開 授業 ※1	指定 授業 ※2	移 動	全体会 ・開会行事 ・総会 (40分)	昼食 寄宿舍 見学	研究協議会 (90分)	移 動	講演会 (90分)	移 動	分科会 助言者 運営責任者 打合せ会	移 動	教育懇談会
						①研究発表 ②授業研究 ③講評						

※1 幼 9:20~10:00 小 9:15~10:00 中・高 9:10~10:00

※2 幼 10:20~11:00 小 10:15~11:00 中・高 10:10~11:00

※ 幼稚部：40分授業 小学部：45分授業 中学部・高等部：50分授業

2日目：10月27日（金） 会場：鹿児島聾学校

8:30 9:00

12:20 12:30

受付	分科会(200分) レポート発表・研究協議・指導助言  9:00~12:20	閉会行事	※分科会ごとに閉会行事後解散
----	---	------	----------------

11 開閉会式等の式次第

全体会 10月26日（木）		閉会行事
開会行事 11:20~11:35	総会 11:35~12:00	10月27日（金） 12:20~12:30
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会のことば</li> <li>2 研究会会長挨拶</li> <li>3 来賓挨拶</li> <li>4 来賓紹介</li> <li>5 閉会のことば</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会のことば</li> <li>2 会長挨拶</li> <li>3 議長選出</li> <li>4 議事事項 平成28年度会務報告 平成28年度決算報告 監査報告 平成29年度役員紹介 平成29年度予算報告</li> <li>5 閉会のことば</li> </ol>	<p>大会のまとめ 閉会のことば</p> <p>※分科会ごとに閉会行事後 解散</p>

12 記念講演

(1) 演題 「これからの聴覚障害児教育のめざすもの」

(2) 講師 松本 末男 氏 筑波大学附属学校教育局 次長・教授

【講師プロフィール】

最終学歴
福岡教育大学聾課程卒業(昭和 51 年) 筑波大学大学院修士課程障害児教育専科修了(昭和 57 年)
職歴
鉦路聾学校(昭和 51 年～昭和 55 年) 旭川聾学校(昭和 57 年～平成 4 年) 筑波大学附属聴覚特別支援学校(平成 4 年～平成 22 年) 久里浜特別支援学校(平成 22 年～平成 24 年副校長) 現職：筑波大学附属学校教育局 次長・教授 (平成 24 年～) 全日聾研幼稚部授業研究分科会助言者, 全国盲ろう教育研究会副会長

13 公開授業・指定授業一覧

(1) 公開授業 鹿児島聾学校【10月26日(木) 9:10～10:00】

学部	学年・学級	教科等	単元(題材)	会場	授業者
幼稚園部	乳幼児教育相談	総合保育	きいろ組(2歳児) VTR	幼稚園相談室	
	1年いるか組	総合保育	おはよう	1年いるか組 教室	山下 いずみ
	1年らっこ組	総合保育	おはよう	1年らっこ組 教室	迫 美和
	1年ぺんぎん組	総合保育	おはよう	1年ぺんぎん組 教室	甲斐 成美
	2年ひまわり組	総合保育	おはよう	2年ひまわり組 教室	齋藤 奈菜恵
	3年ちきゅう組	総合保育	おはよう	3年ちきゅう組 教室	八反丸 和美
	3年にじ組	総合保育	おはよう	3年にじ組 教室	小出水 久美子
	あひる組	自立活動	ことばあそび	あひる組 教室	上村 由希美
小学部	2年1組	算数	かけ算	2年1組 教室	伊勢 知子
	2年2組	算数	長さ(1)	2年2組 教室	池畑 友美
	4年1組	国語	ごんぎつね	4年1組 教室	下家 百合子
	4・5年2組	生活単元 学習	秋の自然	4・5年2組 教室	久保田 隆弘 迫川 みはる
	6年1組	外国語活動	おすすめの国を紹介しよう	6年1組 教室	竹下 尚美
	6年2組	生活単元 学習	秋の自然	6年2組 教室	豊田 佳織 北川 幸子

中学部	2年1組	国語	漢詩の世界	2年1組教室	堂園 千代子
	3年1組	理科	エネルギーと仕事	理科室	永坂 理重
	1・2・3年2組	音楽	日本の歌をうたおう, 合奏しよう	音楽室	内山 純奈 吉川 珠美
高等部	1年1組 1年2組	国語総合	短歌と俳句	1年1組教室	猪八重 久美 牧園 里奈
	2年1・3組 2年2組A	コミュニケーション 英語 I	Tujii, the Great Pianist (関係副詞・形式主語 It)	2年1組教室	岩満 玲那
	2年2組B	世界史A	大航海時代と新たな国家の形成	1年2組教室	鞍掛 晃
	3年1組	ファッション 造形	ロングドレス制作	洋裁室	西山 暁子
	3年2組	実習	金工(板金加工)	産業工芸科 実習室	花立 琢己 他2名
	3年3組	実習	シェービング	理容科 実習室	寺園 新一 他2名
	1年3組	手芸	さをり織り	手芸室	斉藤 優
	3年4組	自立活動	季節の言葉	1年3組・3 年4組教室	大津 順子

(2) 指定授業 鹿児島聾学校【10月26日(木) 10:10~11:00】

学部	学年・学級	教科等	単元(題材)	会場	授業者
幼稚部	2年あさがお組	総合保育	このおはなしはどうなるどうなる	2年あさがお組 教室	岩下 優子
小学部	5年1組	算数	体積	リズム室	早田 識紀
中学部	1年1組	数学	比例と反比例	1年1組 教室	林 菜月
高等部	2年2組 (選択者)	数学Ⅱ	複素数	3年3組 教室	清永 百香

14 学部別研究協議会【10月26日(木) 13:10~14:40】

- ① 指導・助言者の紹介
- ② 学部研究発表
- ③ 授業者による自評
- ④ 質疑応答
- ⑤ 研究協議
- ⑥ 指導・助言

学部	研究主題	指導・助言者	会場
幼稚部	コミュニケーション力の向上を図る 保育活動	文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課特別支援教育調査官 庄司 美千代	プレイルーム
小学部	「分かる授業づくり」のための ICT 機器の活用	鹿児島市教育委員会 学校教育課主幹兼主任指導主事 芝原 一郎	リズム室
中学部	授業における基本的指導技術	鹿児島国際大学 教授 蓑毛 良助	小会議室
高等部	教科の特性に応じた指導・支援の方法 の工夫	鹿児島県立鹿児島盲学校 校長 満尾 吉見	大会議室
寄宿舍	コミュニケーション力を育む生活指導	鹿児島県教育委員会義務教育課特別支援教育室 指導主事 堀之内 恵司	食堂

15 分科会【10月27日（金）9:00～12:20】

(1) 分科会テーマ・助言者一覧

分科会名	テーマ	発表校	記録	運営 責任 校	助言者
1	ことば 「日本語の読 み書き」	多様化する子どもの実態を 踏まえ、表現力やコミュニケー ション力につながる読み書 きの指導について考える。	大分 延岡 熊本	延岡 鹿児島	都城 文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 庄司 美千代
2	基本問題Ⅰ 「キャリア 教育」	社会的・職業的自立を目指し て、必要な基盤となる能力や 実践的な態度を育成する指 導について考える。	佐世保 佐賀 久留米	佐賀 鹿児島	佐賀 鹿児島県立鹿児島盲学校 校長 満尾 吉見
3	基本問題Ⅱ 「寄宿舎 教育」	多様化する子どもの実態を 踏まえ、集団生活を通して自 主的・協調的な生活態度を育 む寄宿舎教育の在り方につ いて考える。	福岡高等 長崎 沖縄	長崎 鹿児島	大分 鹿児島県教育委員会 義務教育課特別支援教育室 指導主事 堀之内 恵司
4	教科①文系 「社会」	社会に関する理解、関心を高 め、社会情勢の変化などを多 面的・多角的に考察できる力 を育成する指導について考 える。	小倉 長崎 沖縄	福岡高等 鹿児島	小倉 鹿児島国際大学 教授 蓑毛 良助
5	教科②理系 「算数・数学」	意欲的・主体的に算数・数学 的活動に取り組み、生活の中 等で活用する態度を育てる 指導の工夫について考える。	小倉 久留米 福岡	久留米 鹿児島	福岡 前大分県立聾学校校長 佐藤 則行
6	自立活動 「コミュニケー ション」	豊かな言語やコミュニケー ションの力の育成を図り、自 己肯定感を高める指導方法 の在り方について考える。	直方 熊本 都城	直方 鹿児島	熊本 筑波大学附属学校教育局 次長・教授 松本 末男

16 レポートタイトル・内容

<b>第1分科会 ことば「日本語の読み書き」</b> 指導・助言者：庄司 美千代 運営責任校：宮崎県立都城さくら聴覚支援学校 運営責任者：島崎 富美子		
テーマ	「多様化する子どもの実態を踏まえ、表現力やコミュニケーション力につながる読み書きの指導について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内 容
大分	財津 誠一 「因果関係を説明したり、書いたりするための理科の授業の工夫」 ～A児の実践を通して～	小学部5年の理科の授業において、A児が予想の理由や結果の原因を科学的な言葉を使って考え、説明したり、日本語で記述したりするためには、どのような工夫をすればよいか、昨年度1年間の実践をまとめたものである。

延岡	西 ひとみ 「日本語の読み書きの力を高める指導・実践のあり方について」	聴覚障がい児が将来、その子らしく社会参加していくためには、日本語の読み書きの力を高めていくことが必要不可欠である。表現力やコミュニケーション力につながる日本語の読み書きの力を高める指導・支援のあり方について研究する。
熊本	東 麻紀 「自分で考えて表現できる力の育成を目指した授業実践の工夫～国語科の指導を通して～」	国語科（物語文）において、登場人物の言動の把握はできても心情や情景を想像しながら読み取ることが難しい。キーワードになる言葉に着目し、「読み」「表現」「伝え・学び合う」過程での指導方法や教材を工夫した国語科の取組について報告する。

### 第2分科会 基本問題Ⅰ「キャリア教育」

指導・助言者：満尾 吉見

運営責任者：爲永 直

運営責任校：佐賀県立ろう学校

テーマ	「社会的・職業的自立を目指して、必要な基盤となる能力や実践的な態度を育成する指導について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内容
佐世保	木戸 美樹 「将来の自立と社会参加を目指した系統的なキャリア教育の在り方」 ～「キャリア全体計画」と「キャリア教育発達段階表」の作成を通して～	「キャリア全体計画」と「キャリア教育発達段階表」の作成を通して、教員がキャリア教育について共通理解を深め、キャリア教育の視点を取り入れた授業づくりに取り組んだ3年間の研究を報告する。
佐賀	石隈 耕一 「生徒一人一人の自己実現を目指したキャリア教育の推進」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の視点に立った生徒の実態把握のあり方。</li> <li>・実態把握に基づく、キャリア教育の視点を取り入れた各教科における授業実践。</li> <li>・就業体験学習の取り組み。</li> </ul>
久留米	椿 智子 「キャリア教育全体計画と中学部の取組について」	本校は幼・小・中の系統性を考えた全体計画を作成し、一貫した取組ができるように実践を重ねている。キャリア教育の全体計画の視点と内容について発表する。また中学部における進路指導や障がい認識につながる具体的な取組についても発表する。

### 第3分科会 基本問題Ⅱ「寄宿舎教育」

指導・助言者：堀之内 恵司

運営責任者：宮邊 亮・中村 由雄

運営責任校：大分県立豊学校

テーマ	「多様化する子どもの実態を踏まえ、集団生活を通して自主的・協調的な生活態度を育む寄宿舎教育の在り方について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内容
福岡高等	小石 英二 「寄宿舎における自立と社会参加に向けた取組」～生活チェック表の活用を通して～	寄宿舎生の自立と社会参加に向け、規則正しい生活習慣の確立と自主性及び社会性の育成を目指し、生活チェック表を活用した寄宿舎生一人一人に応じた指導・支援の在り方について研究する。

長崎	濱崎 佐智子 「主体的に取り組む姿を目指して」 ～行事の取り組みから～	一人ひとりが自主的に取り組み, 協調する力を育む実践活動として, 行事の中から文化祭と年忘れ会を取りあげ, 成功に向けての取り組みについて報告する。
沖縄	大城 統 「多様化する聴覚障害教育において生活実践から社会参加への意識を育む」 ～時間・ルールを守る意識向上に向けた実践を通して～	日々の寄宿舎生活(日課活動)に取り組む意識を高めることが社会参加につながると捉え, H27年度から日課活動への意識向上に向けた実践を行ってきた。今回は2年目の取組(時間・ルールを守る意識向上)について報告を行う。

#### 第4分科会 教科① 文系「社会」

指導・助言者：蓑毛 良助

運営責任者：松浦 真

運営責任校：福岡県立小倉聴覚特別支援学校

テーマ	「社会に関する理解, 関心を高め, 社会情勢の変化などを多面的・多角的に考察できる力を育成する指導について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内容
小倉	中村 伸吾 「主体的に学習に取り組む生徒を育てる社会科の授業作り」	社会科を苦手とする一人学級の生徒に対し, アクティブラーニングの手法や ICT の利活用を取り入れた授業実践を行った。視覚的な興味・関心を高める工夫や身近な事象の教材化, 他学年との連携などを行った。
長崎	久田 政司 「身近な地域の歴史調査」 ～発掘調査体験を通して～	新幹線事業における建設前の発掘調査体験が大村市教育委員会の企画の下, 実施され参加した。出土品の見学や発掘調査体験など貴重な体験ができ, 発掘調査体験を通して大村市の古代の生活などについて学習したことを報告する。
沖縄	宮城 勝江 「歴史的人物を中心に社会背景を多面的に考える授業を目指して」 ～意味ネットワーク図の作成を通して～	生徒の実態から, 歴史人物に興味があることをふまえ, 人物像を中心にその時代背景の理解を促すプリント教材の改善に努めた。その教材を活用して, 生徒たちが学習活動に積極的に取り組んだ様子を発表する予定。

#### 第5分科会 教科② 理系「算数・数学」

指導・助言者：佐藤 則行

運営責任者：天野 秀紀

運営責任校：福岡県立福岡聴覚特別支援学校

テーマ	「意欲的・主体的に算数・数学的活動に取り組む, 生活の中等で活用する態度を育てる指導の工夫について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内容
小倉	高戸 季来 「算数科における説明する力の向上を目指した授業づくり」	今後より必要とされる「説明する力」を算数科の中でどのように向上させるかをまとめた。問題文を読み取り, 立式, 解答の流れをより相手に伝わりやすく説明するために, 提示物の工夫や児童の思考の流れの視覚化を行った。

久留米	田中 孝憲 「主体的に算数的活動に取り組む子供を育てる指導方法の工夫」	算数科において、ICTを活用した指導法や視覚的教材を工夫して用いることで、子供たちの意欲を引き出し、めあて、見通し、考えをもって学習を進めていく様子を発表する。また、お互いの考えを伝え合い、認め合うことで、主体的に活動する姿を発表する。
福岡	新山 菜津子 「思考力を育てる指導の在り方」 ～算数科における発問と授業展開の工夫を通して～	算数科における発問や授業展開等の工夫を通して、既習内容を基に見通しをもち、主体的に課題解決する児童を育てるための指導の在り方について、本校小学部で検討し、実践したことを報告する。

<b>第6分科会 自立活動「コミュニケーション」</b> 指導・助言者：松本 末男 運営責任校：熊本県立熊本聾学校 運営責任者：小田原 春美		
テーマ	「豊かな言語やコミュニケーションの力の育成を図り、自己肯定感を高める指導方法の在り方について考える。」	
発表校	発表者・タイトル	内 容
直方	豊田 文昭 「主体的にやりとりをする力を育てるために」 ～場面を設定した話し合い活動を通して～	ごっこ遊びや劇遊びなどの場面を設定し、話し合い活動を行うことで、子どもたちが主体的にやりとりができるよう取り組んできた経過と成果、今後の課題について報告する。
熊本	雑賀 美智 「思考力につながる豊かなコミュニケーション力を育成するための幼稚部での指導」	聴覚に障がいのある幼児の思考力を支えるためには、語彙を増やすとともに、見えないところでの出来事や人の気持ちをすることもとても大切である。お互いに理解できるやり取りを通して、子供達同士が理解し合っていくことを大切にしたい取組を報告する。
都城	宮田 八十八 「実態把握の在り方の検討と指導内容の工夫」 ～生徒のコミュニケーション力の向上を目指して～	本校中学部は生徒数の減少や、生徒の実態の多様化等によりコミュニケーション力を高める生徒同士の話し合い、学び合いの難しさが切実な課題としてある。生徒のコミュニケーション力の向上を目指した実態把握の在り方の検討や、指導内容の取組を報告する。

17 各種締切・送付先等

	申込・送付締切	振込期限	申込・送付先
分科会発表レポート	9月15日(金)		鹿児島県立鹿児島聾学校学校内 九聴研鹿児島大会事務局 kagoshima-a-ss@edu.pref.kagoshima.jp (九聴研用アドレス)
大会参加申込 弁当申込	6月16日(金) 第一次 9月8日(金) 第二次	9月15日(金)	



## 18 大会事務局及び連絡先

平成29年度第22回九州地区聴覚障害教育研究大会（鹿児島大会）事務局

鹿児島県立鹿児島聾学校 〒890-8686 鹿児島市下伊敷一丁目52番27号

TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

E-mail [kagoshima-a-ss@edu.pref.kagoshima.jp](mailto:kagoshima-a-ss@edu.pref.kagoshima.jp)（九聴研用）

# 交通手段・宿泊先について

## 1. 学校・会場までの交通手段と大会中の宿泊先の案内

- 学校 鹿児島聾学校



※ 本校前の道路(①—②)は、7:00～8:30は一方通行のため②の交差点から本校方向への車両進入禁止となります。御注意ください。また、本校周辺は住宅街の狭い道路です。お車でお越しの際は、安全に気を付けて、時間に余裕をもってお越しください。

住所：〒890-8686 鹿児島市下伊敷一丁目52番27号 TEL：099-228-2200 FAX：099-228-2211

鹿児島中央駅から 東7番 乗り場

鹿児島中央駅 ⇒ 下伊敷（バスで20分：200円程度，タクシーで10分：1,500円程度）

市営バス 1-2番線 北営業所前 20番線 緑ヶ丘団地 JR九州バス（北薩線 薩摩郡山方面）

鹿児島交通 61-1番線 健康の森公園 63-1番線 花野団地 66, 68, 69-1番線 伊敷ニュータウン

鹿児島駅・天文館・高見馬場方面から（高見馬場バス停までは中央駅から徒歩10分）

天文館・高見馬場バス停 ⇒ 下伊敷（バスで20分：200円程度，タクシーで10分：1,500円程度）

・市営バス，JR九州バス，民営バス利用（国道3号線経由伊敷・川内方面）

鹿児島空港バス下伊敷経由 鹿児島空港バス停 ⇒ 下伊敷（バスで40分：1,250円）

- 下伊敷（しもいしき）バス停から学校まで：徒歩5分



○ 鹿児島東急REI ホテル (教育懇談会会場)



※ 宿泊先紹介

教育懇談会会場近くのホテル

- ①鹿児島東急 REI ホテル  
〒890-0053 鹿児島市中央町 5-1 TEL : 099-256-0109
- ②ホテルタイセイアネックス  
〒890-0053 鹿児島市中央町 4-32 TEL099-257-1111
- ③JR九州ホテル鹿児島  
〒890-0045 鹿児島市武 1 丁目 1 番 2 号 TEL 099-213-8000
- ④ソラリア西鉄ホテル鹿児島  
〒890-0053 鹿児島市中央町 11 番地 TEL 099-210-5555
- ⑤ホテルガストフ  
〒890-0053 鹿児島市中央町 7-1 TEL099-252-1401
- ⑥アパホテル (鹿児島中央駅前)  
〒890-0046 鹿児島市西田 2-21-22 TEL099-813-0111
- ⑦グッドイン鹿児島  
〒890-0046 鹿児島市西田 2-27-24 TEL. 099-285-1515

その他 鹿児島中央駅付近には多数のホテルがあります。